

調査・研修報告書（議員用）

報告者：前田 智永

実施場所：衆議院第一議員会館	実施日：令和4年5月19日
■目的・課題・問題事項（調査・研修に先立っての思いや本市の現状 など） 本市の地域課題である人口減少、農業における担い手不足、耕作放棄地対策、肥料や燃料高騰、資材調達困難、酪農飼料不足等について国の動向や今後の見通し、地方に対する補助金等支援や対策について意見交換したい。	
■参考とすべき事項 酪農飼料については国としても危機感がある。国と飼料メーカーで1/2 ずつの異常補填基金と生産者1/3 飼料メーカー2/3 の通常補填基金があり、上手く活用すべきとの見解。 庄原市(広島県北)は全農、全酪、全国的に見ても大変頑張っている。機械支援等も力を入れている。資材等調達遅れも現時点、将来的にも戻ってきており、戦争の影響はほぼないとみている。 農業者は一般的に土壌診断せず肥料の量を自己判断や感覚で変えている傾向がある。診断支援に力を入れ、肥料コスト減に繋げたい。 耕作放棄地対策として、林地化支援をしていく方針。 獣害対策として低密度植林をすることで獣害が来にくくなるとの見解。地域ぐるみ(集落単位)の話し合いで土地利用計画を推進したい(転用許可基準内)。バイオ燃料化の需要増。花植えも効果あり。	
■提言・その他（本市の施策等にどのように活用すべきか など） 集落や自治会単位で土地利用計画を作成し守るのか、林地化していくのか整理する必要があると考える。 農業者、酪農家等、組合単位で必要な(必要ないと感じる)支援や事業の洗い出し、見える化や協力協働体制を構築(再構築)する必要があると考える。 様々な問題に対して本市としての実情をもとに提言や意見を国へあげていく必要があると感じた。	